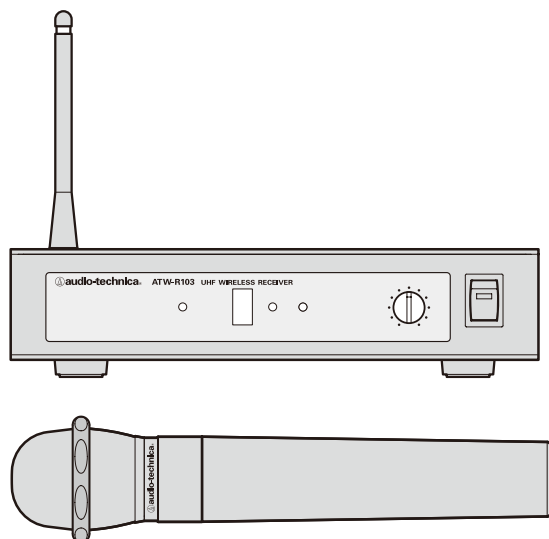


取扱説明書

UHF ワイヤレスシステム ATW-1035



特長

- 外来ノイズの影響に強い
UHF・800MHz帯ワイヤレスシステム。
- 会議、イベントなどビジネスユースに最適。
- コンパクトで使いやすい
ハーフラックサイズ。
- 周波数の切り換えスイッチ付きなので
状況により設定可能。
- コンパンダーの採用により広大な
ダイナミックレンジと低ノイズ化を実現。
- バランス出力端子を装備。
- ACアダプター付属。



お買い上げありがとうございます。
お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

別売：単3形乾電池×2（ワイヤレスマイクロホン用）

ATW-1035 システム内容物

ワイヤレスレシーバー **ATW-R103**
ワイヤレスマイクロホン **ATW-T705**
ACアダプター **AD-LL1205AH**
1/4λ ヘリカルアンテナ
φ6.3モノラル標準プラグケーブル (2.2m)
マイクホルダー

別売 用途に合わせてお選びください。

ワイヤレスマイクロホン（ハンドヘルドタイプ）
ATW-T705/P ￥40,000.（税抜）
ワイヤレストランスミッター
ATW-T107/P ￥23,000.（税抜）
ラベリアマイクロホン（クリップタイプ）
AT829H/P ￥8,000.（税抜）
ヘッドウォーンマイクロホン（ヘッドセットタイプ）
PRO8HEW/P ￥8,000.（税抜）

目次

△ ACアダプターの注意	2
△ 警告	2
△ 注意	2
使用上の注意	3
複数のワイヤレスシステムを 使用するには	3
各部の名称と機能	4～5
電池の入れかた	5
マイクホルダーの使いかた	5
接続及び設置のしかた	6
使いかた	6
スケルチボリュームの設定のしかた	7
故障かな？と思う前に	7
テクニカルデータ	裏表紙
外形寸法図	裏表紙

⚠ ACアダプターの注意

- AC 100V以外の電源には使わないでください。火災や感電の原因になります。
- DCプラグに異物を入れないでください。
- 異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か、当社の相談窓口までお問い合わせください。
- コードは伸ばしてお使いください。束ねたままで使用したり、釘などで固定しないでください。
- 本体は濡れた手で触れないでください。コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。コードが破損すると、感電、故障や火災の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れないでください。
- 布などでおおわないでください。熱がこもり、感電や火災の原因になります。
- 長時間使用しない時には、コンセントから抜いておいてください。

⚠ 警告

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

- 付属の専用ACアダプター以外は使わないでください。
- DC IN 12V (外部電源入力) ジャックに異物を入れないでください。
- ACアダプターはAC 100Vの電源に使用してください。
- 異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店か、当社の相談窓口までお問い合わせください。
- 分解や改造はしないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。

⚠ 注意

- ATW-T705は(財)テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務大臣の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使うことはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部を持って行ってください。
- アンテナで目を突いたりしないようご注意ください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 水がかからないようにしてください。
- 火気に近づけないでください。
- 布などでおおわないでください。
- 長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。長い間保存するときには、機器をビニールなどで包み、湿気らないようにしてください。

メンテナンス上の注意

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどは使わないでください。プラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

使用上の注意

- ワイヤレスマイクロホン、ワイヤレストランスミッターとレシーバーは2m以上離し、近づけない状態でお使いください。
- ワイヤレスシステムは自動車のスパークノイズ、照明用調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置してお使いください。
- 本機は必ず当社指定の機器との組合せでお使いください。
- ワイヤレスマイクロホン（別売 **ATW-T705/P**）、ワイヤレストランスミッター（別売 **ATW-T107/P**）に使われているUHF帯の電波の特性は波長が短く直進性が強いので、マイクロホンとレシーバー間に障害物があると音切れの原因となる場合があります。見通しの良い位置関係でご使用ください。
- ミキサーに接続する場合、ファントム電源をオフにしておいてください。

複数のワイヤレスシステムを使用するには

複数でご使用の際は、各々異なった周波数でお使いください。その場合レシーバー同士、マイクロホン、もしくはトランスミッター同士は2m以上、またレシーバーとマイクロホン間は2m以上離すようにしてください。

*お手持ちの他社製品と併用して最大6チャンネル（B11～B16）まで同時に使用できるものもありますが、その場合レシーバーとマイクロホン、もしくはトランスミッター間は3m以上離すようにしてください。
他社製品と併用してのご使用は、性能を十分に発揮できないため、極力、控えて頂きますようお願いいたします。

同一の周波数で複数のマイクロホン、もしくはトランスミッターを使用することはできません。お近くの別の場所でも同じB型ワイヤレスマイクロホンシステムが使われている場合も同じ周波数で同時に使用することはできません。

*既存モデルの **ATW-SP77**、**ATW-SP88**、**ATW-T70**、**ATW-T17J**、**ATW-R13** をお持ちの方は、右表の周波数表示（B11～B16）をご参照のうえ、チャンネルを合わせご使用ください。

*ワイヤレスマイクロホン（別売 **ATW-T705/P**）、ワイヤレストランスミッター（別売 **ATW-T107/P**）の取扱説明書をあわせてお読みください。

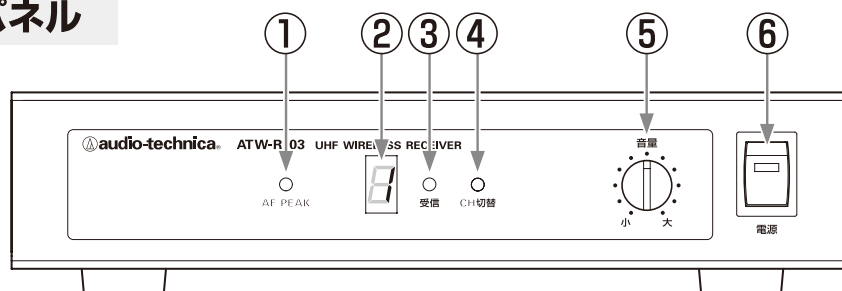
レシーバーの 本体表示	マイクロホン、 トランスミッターの本体表示	周波数
1	1	B11：806.125MHz
2	2	B12：806.375MHz
3	3	B13：807.125MHz
4	4	B14：807.750MHz
5	5	B15：809.000MHz
6	6	B16：809.500MHz

- B型のワイヤレスマイクロホンシステムの周波数割当は、全社の製品が同一と定められていますので、お店が林立するような場所での使用は混信、干渉を起こすおそれがあります。その場合は周波数の設定を変更してください。
- 本機は比較的、雑音電波の少ない800MHz帯域を使用していますが、蛍光灯、OA機器、大型の金属物、大型モニター機やデジタル回路内蔵機器などの影響をごくまれに受けることがあります。その場合は、影響を受けない位置まで離してください。
- レシーバーとマイクロホンは、2m以上離してください。
- 本機は電波法に準拠して製造した日本国内専用モデルです。海外の法律には適合しておりません。
海外で使用すると各国の法律により処罰されることがありますので、海外ではご使用にならないでください。

各部の名称と機能

●レシーバー ATW-R103

フロントパネル



① AF PEAK インジケーター

マイクロホンの音声が入力時にレッドに点灯します。

③ 受信インジケーター

ワイヤレスマイクロホンの電波を受信するとイエローに点灯します。

⑤ 主音量ボリューム

バランス出力端子と音声出力端子の出力音量を調整します。つまみを左に回すと小さくなり、右に回すと大きくなります。

② チャンネル表示窓

現在、設定されている受信チャンネルを表示します。

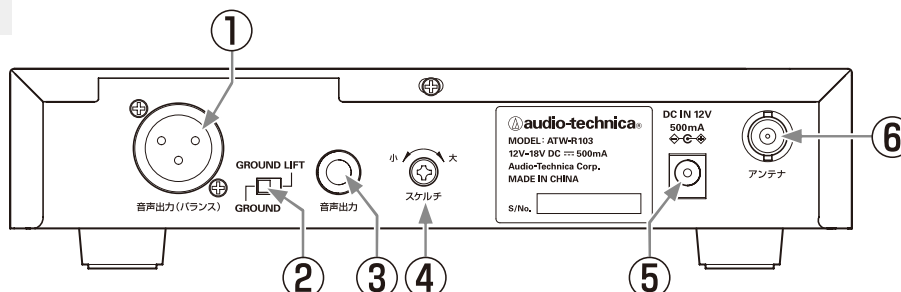
④ チャンネル 切り換えスイッチ

受信チャンネルを切り換えます。押すと順方向でチャンネルが切り換わります。

⑥ 電源スイッチ

ONにすると電源が入り、ON時はスイッチ上部のLEDがレッドに常時点灯します。OFFにすると電源が切れます。

リアパネル



① バランス出力端子

別売のキャノンケーブルで、アンプやミキサーなどのライン入力 (CDなど)、またはマイク入力端子につながます。

③ 音声出力端子 (モノラル)

付属のφ6.3モノラル標準プラグケーブルで、アンプやミキサーなどのライン入力 (CDなど)、またはマイク入力端子につながます。

② GROUNDリフトスイッチ

①のバランス出力端子のGNDピンをGNDより切り離すスイッチです。通常はGROUND側へ切り換えておいてください。

*他の機器と接続したとき“ブーン”という音が発生したときはGROUND LIFT側に切り換えてください。おさめることがあります。

④ スケルチボリューム

他の電波や外来ノイズの影響を受けて雑音が発生した場合に、ドライバーで調整します。
(詳しくは6ページの「スケルチボリュームの設定のしかた」を参照ください。)

⑤ DC入力端子 (DC IN 12V)

付属のACアダプターを接続します。

⑥ アンテナ

付属のアンテナをこの部分に差し込みます。

各部の名称と機能

●ワイヤレスマイクロホン ATW-T705

① ヘッドケース

② ゴムリング

マイクロホンの転がり防止用ゴムリングです。取り外しも可能です。

③ 電源スイッチ

オンにすると電源が入り、電波が発信されます。オフにすると切れます。

④ パワーインジケーター

電池の状態を表示するインジケーターです。電源スイッチをONにするとグリーンに常時点灯します。インジケーターがレッド又は無点灯の時は電池を交換してください。

⑤ チャンネル切り換えスイッチ

1～6の6つのチャンネルに切り換えられます。

※出荷時は1の位置にあります。

※電源スイッチONの状態で設定を変更しても周波数は切り換わりません。

※ONのまま設定した場合、一度OFFにして約2秒後にONしてください。

⑥ グリップ

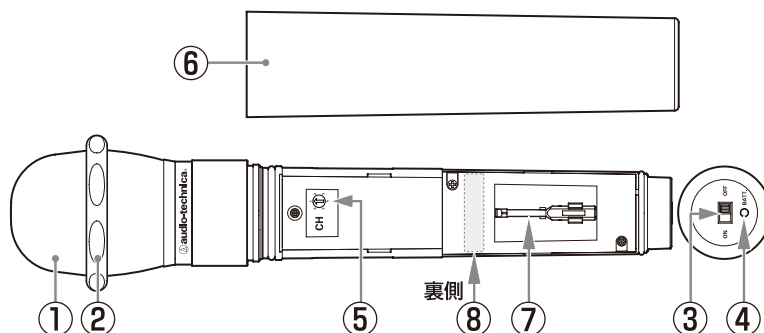
電池交換の時、反時計方向に回して外します。

⑦ ドライバー

チャンネルの切り換え時に使用します。

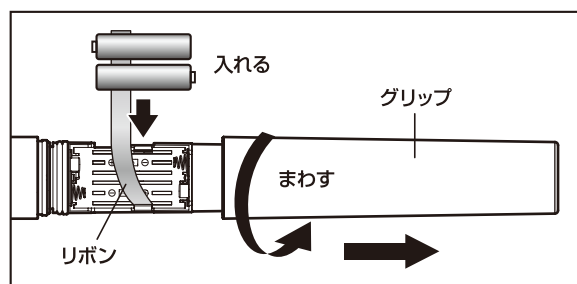
⑧ 技術基準適合証明ラベル

電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。このラベルをはがすことは電波法により禁じられており、罰せられます。



電池の入れかた

1. マイクロホンの電源をオフにします。
2. グリップを反時計方向に回して外します。
3. 市販の単3形乾電池を2本ケース内の極性に合わせ入れて入れます。
 - ※ 電池は脱落防止、接触不良防止のために強嵌合になっています。
 - ※ リボンを下にして、その上から電池を入れてください。
 - ※ 使用中の電池端子の接触不良による音切れ防止の為、電池は外れにくくなっています。
 - 電池を取り出す際には、リボンの先端を持ち、電池を下から持ち上げるようにして外してください。
 - ※ 電池はアルカリ電池をおすすめします。
 - ※ 電池の極性を正しく入れないと故障する恐れがあります。
4. グリップを取り付けて完了です。



マイクホルダーの使いかた

本機のマイクロホンをスタンドで使う場合には必ず付属のマイクホルダーをご使用ください。他のマイクホルダーを使用した場合、マイクロホンがしっかり保持できず、落下などを起こし、故障の原因となります。マイクホルダーにマイクロホンを取り付ける際は、マイクロホン本体の電源スイッチを上側に、またマイクスタンドはネジ径5/8インチのタイプをご使用ください。

接続及び設置のしかた

* 接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

1. レシーバー (ATW-R103/P) と接続機器の音量ボリュームを最小にしてください。

2. レシーバーと接続機器 (アンプ、ミキサーなど) をつなぎます。

■ ϕ 6.3モノラル標準プラグケーブルを使って、音声出力端子から接続機器の入力端子へつなぎます。

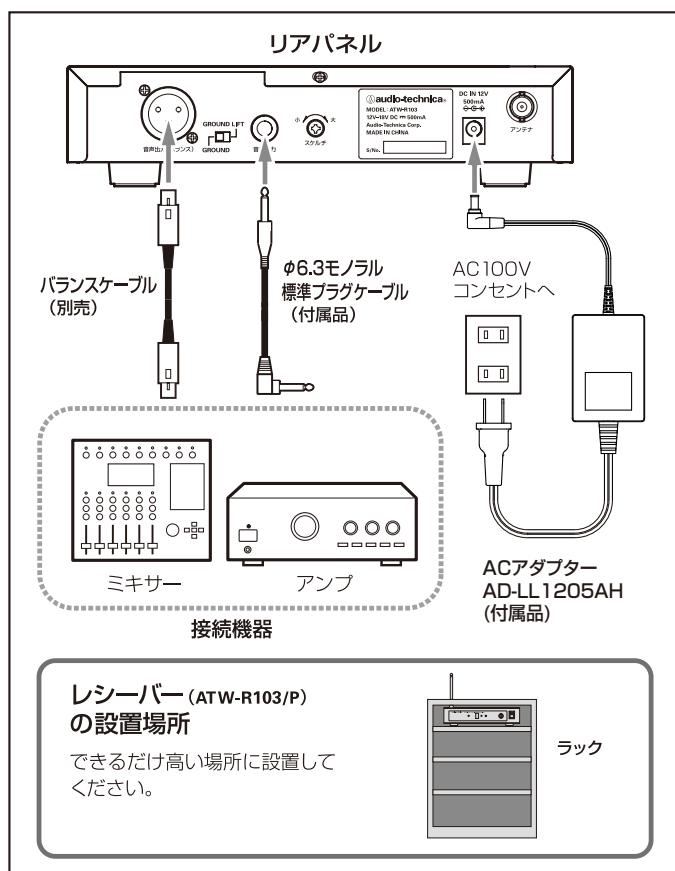
■ バランスケーブル (別売) を使って、バランス出力端子から接続機器の入力端子へつなぎます。

* 別売 バランスケーブル (キャノンケーブル)
ATL4A58B/3.0 ¥3,000. (税別)

* ミキサーのファントム電源はオフにしておいてください。

* ミキサーなどつなぐ機器の入力ジャックが ϕ 3.5ミニモノラルジャック、RCAジャックなどの場合は別売のケーブル、または変換プラグをお使いください。

3. ACアダプターのDC出力プラグをレシーバーのDC入力ジャック(DC IN 12V)に差し込み、ACアダプターのプラグをAC100Vコンセント口に差し込みます。



使いかた

* 接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

1. レシーバーのアンテナを立てます。

2. ワイヤレスマイクロホンに電池を入れます。
(詳しくは5ページの「電池の入れかた」を参照ください)

3. レシーバー (ATW-R103/P) と接続機器のボリュームが絞られているか確認します。

4. レシーバーと接続機器をつなぎます。

5. ACアダプターをレシーバーにつなぎ、コンセント口に差し込みます。
(詳しくは上記の「接続及び設置のしかた」を参照ください)

6. レシーバーの電源スイッチをONにします。

7. ワイヤレスマイクロホンのチャンネルとレシーバーのチャンネルを合わせます。

8. ワイヤレスマイクロホンの電源スイッチをONにするとマイクロホンのインジケーターが点灯し、レシーバーの受信インジケーターが点灯 (イエロー) します。

9. 頻繁にレシーバーのフロントにあるAF PEAKインジケーターが点灯する場合は過大入力ですので、主音量ボリュームを調整してください。

10. 音に歪みがないようレシーバーの主音量ボリュームを上げます。

11. 他の電波や外来ノイズの影響を受けて雑音が発生した場合、レシーバー (リアパネル) のスケルチボリュームを調整します。
(詳しくは7ページの「スケルチボリュームの設定のしかた」を参照ください)

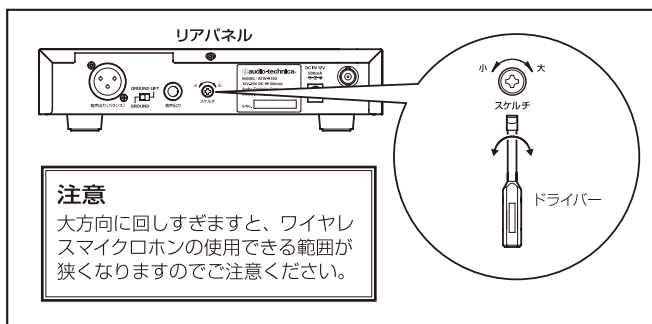
スケルチボリュームの設定のしかた

他の電波や外来ノイズ影響を受けて雑音が発生した場合に、市販の+ドライバーでスケルチレベルを調整します。小方向に回すと電波の到着距離は長くなりますが、他の電波の影響を受けて雑音が発生しやすくなります。大方向に回すと雑音は発生しにくくなりますが、到着距離は短くなります。

* スケルチボリュームに力を加えずに破損させないようにご注意ください。

* 金属ドライバーで回すと破損の恐れがある為、先端が樹脂製の物をご使用ください。

別売のワイヤレスマイクロホン (ATW-T705/P)、ワイヤレストランスミッター (ATW-T107/P) に付属されているドライバーもご使用できます。



故障かな?と思う前に

レシーバーの電源が入らない

- ACアダプターがコンセントから外れていませんか?
 - ACアダプターのDC出力プラグとレシーバー (リアパネル) のDC入力端子が外れていませんか?
- ⇒ 6ページの「接続及び設置のしかた」を参照ください

外部接続機器からの音がでない

- 接続機器のプラグが出力端子から外れていませんか?
 - 接続した機器は再生モードになっていますか?
 - 接続した機器のボリュームを絞っていませんか?
- ⇒ 6ページの「接続及び設置のしかた」を参照ください

ワイヤレスマイクロホンの電源が入らない または電源が入るがすぐに切れてしまう

- 電池は入っていますか?
 - 電池寿命は大丈夫ですか?
 - 電池の使用期限は過ぎていませんか?
 - 消耗した電池と新しい電池を混ぜて使用していませんか?
 - 電池の極性は正しいですか?
- ⇒ ワイヤレスマイクロホン ATW-T705/P または ワイヤレストランスミッター ATW-T107/P の取扱説明書を参照ください

音が出ない

- 本機または接続した機器のボリュームを絞っていませんか?
 - マイクロホンとレシーバーの電源がOFFになっていませんか?
 - マイクロホンとレシーバーの周波数が合っていますか?
- ⇒ 4～5ページの「各部の名称と機能」を参照ください
- ⇒ ワイヤレスマイクロホン ATW-T705/P または ワイヤレストランスミッター ATW-T107/P の取扱説明書を参照ください
- スケルチボリュームが最大に設定されていませんか?
- ⇒ 7ページの「スケルチボリュームの設定のしかた」を参照ください

ノイズが出る

- 各ケーブルは確実に機器に接続されていますか?
 - 近くに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか?
- ⇒ 3ページの「使用上の注意」を参照ください
- 同じ周波数のワイヤレスマイクロホンを同時使用していませんか?
 - 近くで同じ周波数帯 (B帯) のワイヤレスシステムを使用していませんか?
- ⇒ 3ページの「複数のワイヤレスシステムを使用するには」を参照ください
- ⇒ ワイヤレスマイクロホン ATW-T705/P または ワイヤレストランスミッター ATW-T107/P の電池を新品と交換してください

音が歪む

- レシーバーの主音量ボリュームが過大になっていませんか?
- ⇒ 4～5ページの「各部の名称と機能」を参照ください

レシーバーが受信しない 電波の到達距離が短い

- アンテナを立てていますか?
 - スケルチ設定レベルを最大の方法に回していませんか?
- ⇒ 7ページの「スケルチボリュームの設定のしかた」を参照ください
- マイクロホンとレシーバーの周波数が合っていますか?
- ⇒ 4～5ページの「各部の名称と機能」を参照ください
- 近くで同じ周波数帯 (B帯) のワイヤレスシステムを使用していませんか?
- ⇒ 3ページの「複数のワイヤレスシステムを使用するには」を参照ください

テクニカルデータ

システム総合特性

受信周波数	: 1 (806.125MHz) 2 (806.375MHz) 3 (807.125MHz) 4 (807.750MHz) 5 (809.000MHz) 6 (809.500MHz) の6波から 1波をスイッチで選択
周波数特性	: 100Hz～15kHz
使用温度範囲	: 5℃～45℃

レシーバー ATW-R103

受信方式	: ダブルスーパーヘテロダイン方式 1st IF 110.6MHz 2nd IF 10.7MHz
局部発振方式	: 水晶制御PLLシンセサイザー
受信感度	: 21dB μ (SN比: 60dB JIS-A) 聴感補正、周波数偏移 $\pm$ 10kHz)
SN比	: 80dB
歪率	: 1%以下
出力端子	: ϕ 6.3モノラル標準ジャック XLRタイプ3Pバランスレセプタクル
出力レベル	: -9dBV (ϕ 6.3モノラル) -14dBV (XLRタイプ) ($\pm$ 10kHz 周波数偏移 1kHz)
アンテナ	: 1/4 λ ヘリカルアンテナ
電源	: DC12V、500mA (ACアダプター AD1205JA)
消費電流	: 150mA
外形寸法	: H44×W210×D205mm
質量	: 約1.2kg

ワイヤレスマイクロホン ATW-T705

形式	: ダイナミック型
指向特性	: 単一指向性 (ハイパーカーディオイド)
アンテナ形式	: 内蔵アンテナ
周波数特性	: 100～15,000Hz
発振方式	: 水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	: F3E
トーン信号	: 32.768kHz
空中線電力	: 10mW
送信周波数安定度	: 20ppm 以下
不要輻射	: 2.5 μ W 以下
基準周波数偏移	: $\pm$ 5kHz
最大周波数偏移	: $\pm$ 15kHz
電源電圧	: DC3V (単3形乾電池 $\times$ 2)
電池寿命	: 約8時間 (アルカリ電池使用時)
外形寸法	: ϕ 54 $\times$ 240mm
質量 (電池除く)	: 約275g

ACアダプター AD-LL1205AH

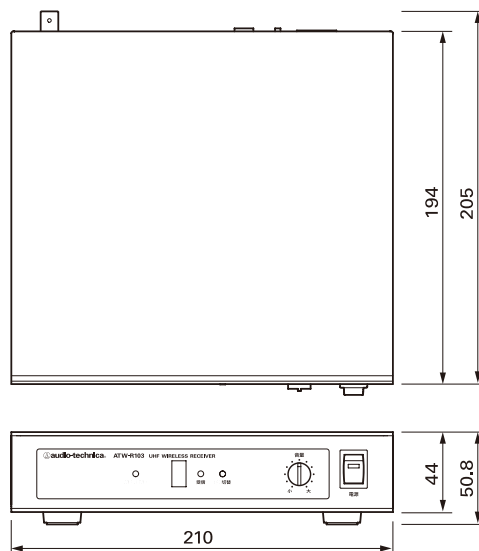
電源	: AC100V、50/60Hz
定格出力	: DC12V、500mA センタープラス

●付属品	: ACアダプター AD-LL1205AH 1/4 λ ヘリカルアンテナ ϕ 6.3モノラル標準プラグケーブル(2.2m) マイクホルダー
------	---

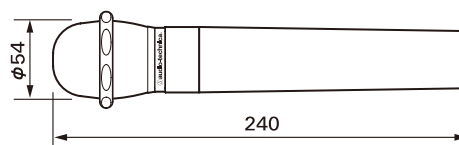
(改良などのため予告なく変更することがあります。)

外形寸法図 (単位: mm)

ATW-R103



ATW-T705



お問い合わせ (電話受付/平日9:00～17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または
当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●相談窓口 (製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター (修理・部品) ☎ 0120-887-416

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ (サポート)

www.audio-technica.co.jp/atj/support/

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用に
おいて故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせて
いただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のた
めに保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

232303670B